



グローバルセンターだより

Glocal Center

8月5日（土）、大学の地域貢献と情報発信を目的とし、「鳥取看護大学・鳥取短期大学踊り子連」として倉吉打吹まつりの伝統「みつぼし踊り大会」に出場しました。4年ぶりの参加となった今回は、両大学の教職員を中心に総勢24名で踊り子連を編成し、当日は沿道の方々よりたくさんのご声援をいただきながら、全員で踊りを楽しみました。

今後も「地域とともに！」をモットーに、地域の活性化に向けた活動に積極的に取り組んでいきます。



◆石谷精華堂さんより打吹公園だんごをいただきました！



6月16日（金）、倉吉市の石谷精華堂さんより、両大学の学生へ打吹公園だんご100本が贈られました。この企画は「6月16日は和菓子の日」にちなんで、地元の学生に倉吉銘菓を味わってほしいと計画されたもので、石谷精華堂さんのご厚意により初めて実現しました。

学生からは「見た目がかわいく、味もおいしい！」「帰省するときのお土産にしたい！」などの感想が寄せられ、とても嬉しそうに受けとっていました。石谷精華堂さん、ありがとうございました！

JA鳥取中央プレゼンツ！3年ぶりに「スイカの試食会」を開催！

県中部で栽培が盛んな鳥取スイカを若い人たちに知ってもらおうと、6月21日（水）、本学にて、JA鳥取中央主催の「スイカの試食会」が行なわれました。当日は、おいしく食べるための切り方の秘訣や種類の違いなどもうかがいながら、生産者のみなさんが実際に学生、園児、教職員の目の前で切り分けてくださったものを味わい、暑い季節にむけてしっかりと充電しました。

また、今回は、鳥取県の名産品である“スイカ”のPR、消費拡大に活用いただくため、在学生対象のポスターコンペも開催し、試食会当日には最優秀賞（はじけるスイカパワー：鳥取短期大学 生活学科住居・デザイン専攻 2年 笹尾咲来さん）と優秀賞（夏の「彩り」が詰まっています。：同 福本雄介さん）の発表および表彰式も行われました。

新型コロナウイルス感染症による行動制限も緩和され始め、学生たちが地域と繋がる機会も増えてきています。今回の企画も、またひとつ鳥取の恵みのすばらしさを体感するよい機会となりました。

JA鳥取中央および生産者のみなさま、貴重な機会をありがとうございました！



大山町ではじめての「まちの保健室」開催



今年度「まちの保健室」は、希望件数増に加え、はじめての地域から依頼を受けるケースも増えています。

長かった梅雨が明け、すっきりときれいに晴れた7月21日（金）、「大山町保健福祉センターなわ」において、「ことぶき学級」の皆さまを対象に「まちの保健室」を開催しました。この日は43名の参加があり、教員3名、まめんなかえ師範4名と町内の保健師さんも一緒になって、骨密度などの計測や健康相談を実施しました。「ミニ講話」では「眠りのおはなし」と題し、概日リズムや不眠が身体に与える影響、自然な眠りにつくためのコツなどをお話ししました。参加者も多く、とても和やかに笑顔あふれる時間となりました。

鳥取看護大学では、今後も地域の皆さんの健康生活に貢献できる活動を続けていきたいと考えています。

倉吉を元気に！地域を元気に！



倉吉市長との意見交換会「市長と“はなし”しょいや」を開催しました

6月8日（木）、本学にて、倉吉市長広田一恭氏と鳥取看護大学・鳥取短期大学の学生29名による意見交換会を開催しました。これは、昨年度に引き続き「若い世代の人たちが倉吉市に住み続けるためにはどのようにすればよいか、直接意見を聞きたい」という倉吉市からの要望により企画されました。

今回は「若者が住み続けたいと感じる元気な倉吉市になるには」をテーマに、倉吉市の良いところ・惜しいところ、お気に入りの場所やイベントなどの日常生活に関すること、就職先を選ぶときに重視するところなどの将来に関することについて、学生たちは市長と率直な意見を交わしました。

また、昨年度の意見交換会をきっかけに倉吉市が作成した企業ガイド『知られざる地元企業の魅力ガイド』に対する感想や改善点についても話し合い、「就職後に役立つ資格、企業自身の課題、企業が今後伸ばしたい分野が知りたい」など就職活動を控えた学生ならではの視点でアイデアが出ました。

参加した地元内外の学生からは「倉吉市での就職も考えているため、非常に勉強になった」「就職を考える機会になって良かった」「倉吉市の取組みをもっと知りたい」など、地域（倉吉市）への関心を一層深める感想が多く寄せられ、とても有意義な会となりました。



鳥取短期大学餅研究室の山田真梨菜さんが「2023打吹天女」に選ばれました！

倉吉市のPR大使「2023打吹天女」に、鳥取短期大学餅研究室 特別研究生 山田真梨菜さんが選ばれ、8月5日（土）、第45回倉吉打吹まつりでお披露目されました。

倉吉市役所第2庁舎駐車場の特設ステージで行われたオープニングセレモニーでは、新天女の山田さんがあざやかな浴衣を着て登場し、「2019打吹天女」の石亀万理子さん（鳥取短期大学 事務職員）からたすきと花束を受け取り、バトンを引き継ぎました。新天女発表の後には、早速、初仕事となる倉吉市制70周年記念の餅まきやみつぼし踊り表彰式のプレゼンターを務めました。

これから1年間、倉吉市のPR大使として県内外のさまざまなイベントで活躍していきますので、応援よろしくお願いいたします！



「出前県議会」に参加しました

8月24日（木）、鳥取県立美術館建設地で「鳥取県立美術館における地域と連携した『県民立』の美術館づくりについて」をテーマに、県内調査の一環として広く県民の意見を聴く「出前県議会（鳥取県議会総務教育常任委員会主催）」が開催されました。

この「出前県議会」に、鳥取県立博物館と協働で対話型鑑賞のファシリテーター養成プログラムに取り組んでいる鳥取短期大学 国際文化交流学科 渡邊太教授と学生2名が出席し、取組みの内容や感想を述べました。また、地元作家の作品を収蔵することなどを要望し、委員の皆さんも熱心に聞いておられました。

今後、この対話型鑑賞ファシリテーションが広く県内に広まっていくことを期待しています。

令和5年度 公開講座終了

「つながらる」をテーマに5回にわたって開催した令和5年度の公開講座は、9月1日をもって終了しました。

ここ数年、新型コロナウイルス感染症の影響で予定どおりの開催が難しかったことを思えば、計画どおりに開催できライブ配信の受講も含め、のべ350名以上の方に受講していただけたことは感謝の念でいっぱいです。今後はアンケートなどをもとに、来年度の計画を検討していきます。

今後も地域のみなさんの益となる講座をお届けしたいと考えています。



大学生活を楽しむ！

鳥取短期大学国際交流委員会企画

「Asian Foods Festival ～ アジアの映画とフードを楽しもう～」

7月12日（水）、本学にて「Asian Foods Festival ～ アジアの映画とフードを楽しもう～」を開催しました。このイベントは、台湾や韓国などアジア諸国のおいしいものを食べながら映画を鑑賞し、異文化理解を深めようと企画・実施されました。

当日は、鳥取短期大学 生活学科情報・経営専攻 簡逸威准教授が台湾について紹介した後、映画「海角七号 君想う、国境の南」を鑑賞し、参加者は軽食やスイーツを堪能しながら、映画や会話、写真展などを楽しみました。

また、今回のイベントでは、学生サークル「グルメラボ」とのコラボが実現！サークルメンバーが製作した台湾スイーツ【台湾カステラ、豆花(トウファ)、タピオカドリンク】も提供したところ、参加者からは「おいしい！」と大好評でした。



鳥取看護大学国際交流委員会企画「JICAセミナー」

8月4日（金）、公益社団法人青年海外協力協会・JOCA南部副代表の鈴木亜依子さんと、JICA2019年度2次隊の鳥越公美さんをお迎えして、海外協力隊セミナーが開催されました。このイベントは、学生の国際理解を促す機会として企画され、海外協力隊（JICA）の事業概要やセネガルでの協力隊の経験について講演いただきました。学生たちは、「協力隊での経験を通して価値観がとても豊かになること」や「自分の力で誰かの役に立てる素晴らしさは国が違っても変わらないこと」を改めて認識し、学びの多い時間となりました。

English Caféを随時開催中！

鳥取短期大学 国際文化交流学科 レヴィ レイモンド先生を中心に、リラックスした雰囲気の中で英会話を楽しむことを目的として、English Caféを定期的に企画しています。前期には6月14日(水)、7月20日(木)に開催し、学生たちは「今までで一番楽しかった旅行は？」「感謝を伝えたい人は誰？」「1週間の休みがあれば、ビーチでゆっくり過ごす？アクティビティに挑戦する？」「博物館と遊園地、どちらに行きたい？」など身近なテーマについて、過去のエピソードを交えながら、英語での会話やカードゲームを楽しみました。

後期も季節のイベントにちなんだ楽しい企画を提供していきます！



学生たちの地域活動

コロナ禍による行動制限も徐々に緩和されるなかで、学生たちが地域へ飛び出し始めています！

学生たちは

- ・ ボランティアに参加することで地域の現状を知り、もっと地域を好きになる機会にしたい
 - ・ 大学では関わることのない世代の方と触れ合うことで、自分とは違う考え方を見つけたい
 - ・ 様々なボランティア活動を通して、コミュニケーション能力を伸ばしたくさんの経験をしたい
- などの想いをもちながら活動しているようです。

活動の一部を紹介します！地域で学生たちを見かけられましたら、ぜひお声かけください！



★毎年恒例！SUN-IN 未来ウォークのスタッフ

★あいさつ運動 @倉吉駅



★三徳山の行者道を補修する 山護運動体験



★見守りの和では、移動販売のお手伝い！



★中部発!食のみやこフェスティバルでは、大学ブースを出展!



★消防防災サークル ToCoToNFASTによる 災害復旧支援ボランティア

とっとりプラットフォーム5+α ～地域の教育機関・団体等と一緒に～

「とっとりプラットフォーム5+α」共同研究事業報告会を開催しました

6月27日(火)、「とっとりプラットフォーム5+α」共同研究事業報告会を、会場とWEB配信のハイブリッド形式で開催しました。今回は、「少子化対策」「リスクマネジメント体制」「女性雇用」の3つの社会的課題の解決に向け、行政や構成団体の皆様に実践的な研究成果をフィードバックしました。

- 1 「自然を活かした保育による幼児の身体的発達に関する調査研究」
鳥取短期大学 幼児教育保育学科 近藤剛教授
- 2 「鳥取県の孤立の可能性ある集落における地域防災力向上のための支援プログラムの構築」
鳥取大学大学院 工学研究科 浅井秀子准教授
- 3 「乳児期親子の関係性構築に関する育児支援体制強化の検討
～看護職と保育士の乳幼児精神保健の認識比較から～」
鳥取短期大学 幼児教育保育学科 山村裕子助教



共同FD・SD研修会を開催しました

9月4日(月)、「とっとりプラットフォーム5+α」に参画している団体が連携・協力して共同FD・SD研修会を開催しました。今年度は、現在注目を浴びている生成AIをテーマに取り上げ、「ChatGPTの活用方法～教育現場、一般職場での活用に向けて～」と題し、株式会社ジェイエス・ロボティクス 代表取締役 佐藤仁氏にご講演いただきました。また、講演会の後には、佐藤氏と本学教員2名によるトークセッションも行いました。

参加者からは、「教育・研究において、生成AIの活用方法を考えるヒントをいただけた」「実演がとてもわかりやすかった」「ChatGPTをうまく活用し今後の業務効率化を図りたい」などの感想が寄せられました。

今後も地域のさらなる発展をめざして、有意義な情報を提供できる研修会の運営に努めていきます。

竹中大工道具館に行ってきました！～美術館フィールド活用支援事業～

とっとりプラットフォーム5+αで取り組んでいる「鳥取県立美術館フィールドを活用した建築人材育成支援事業」の一つとして、建築を学ぶ学生による関連施設の現場研修を行なっています。

9月13日(水)には、鳥取県立美術館の施工者である竹中工務店が運営する竹中大工道具館に鳥取大学、公立鳥取環境大学、鳥取短期大学、米子工業高等専門学校(米子工業高専)の学生・教職員19名で訪問しました。館内見学時には丁寧な解説をしていただき、学生たちは熱心に見学していました。10月にも県外の現場研修を予定しており、高等教育機関が連携して学びを深めています！



～鳥取短期大学生生活学科食物栄養専攻×マルイ 共同開発！～

食育バランス弁当

「はっこう&食物せんい 美食箱bishokubako」発売中！



「地域に健康とおいしさを届ける」「食育を通じた活性化」を目的に、共同開発しているお弁当の第三弾「美食箱」が現在、鳥取県、島根県、岡山県のマルイ全店で販売されています。

今回のテーマは「腸活」。腸内環境を整えるための食物繊維が豊富な食材(ひじき、紫黒米、胚芽米、おから、根菜、紫キャベツなど)と発酵食品(味噌、ヨーグルト、塩麴、甘酒)を掛け合わせた弁当に仕上がっています。

学生たちの想いが詰まったお弁当は今後も開発予定です。見かけられたら、ぜひご賞味ください！

ようこそ ようこそ ～大学見学会～

大学見学会にお越しいただきました

本学では、地域の皆さまからの要望に応じた大学見学会を随時開催しています。6月24日(土)には大山町女性団体連絡協議会、8月31日(木)には南部町ことぶき大学、9月11日(月)には上北条地区民生児童委員協議会の皆さまが来学され、健康に関するミニ講話を聴講し、大学構内を見学されました。

見学後には「体温の奥深さがわかった」「人との交流や運動を頑張りたい」「いつでもどこでも生じる事例についてわかりやすく教えていただいた」などの感想が寄せられました。



《発行》 鳥取看護大学・鳥取短期大学グローバルセンター 〒682-8555 鳥取県倉吉市福庭854
TEL : 0858-27-0107 FAX : 0858-26-9138 E-mail : glocal@cygnus.ac.jp